

A

配付者限り
日本電信電話ユーザ協会北海道支部
保存期限：7年（原本）

令和6（2024）年度
深川地区協会
理事会・定時総会議案書

日時：令和6（2024）年9月26日<木>
16：00～16：45

場所：ラ・カンパニーホテル深川



公財団法人

日本電信電話ユーザ協会

【議案】

1号議案 令和5（2023）年度事業報告

2号議案 令和5（2023）年度収支状況報告

3号議案 令和5（2023）年度監査報告

4号議案 令和6（2024）年度事業計画（案）

5号議案 令和6（2024）年度収支計画（案）

6号議案 地区協会の運営方法見直し（案）

7号議案 役員選任について（案）

（参考） 令和5（2023）年度地区協会表彰結果と表彰基準の見直し

令和5（2023）年度事業報告

新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ変更となり対面でのコミュニケーションが復活していくものの、北海道の人口は全国に先駆けて減少している中でインボイス制度導入・電子帳簿保存法の猶予期間終了等の国の制度変更への対応を行うためには、DX（デジタルトランスフォーメーション）による労働力不足対策が地域活性化のカギとなると捉え、これまで以上にICT等の最新技術に着目した事業内容への転換を目指しました。

また、12年振りに札幌での開催となる「第62回電話対応コンクール全国大会」も、北海道・札幌市・北海道観光振興機構・北海道商工会議所連合会の後援をいただき、道外から1,000名規模の皆さまをお迎えし、また北海道らしい物産展やアトラクションを企画実施してきました。

深川地区協会事業は、概ね計画通りに実施することができました、ありがとうございます。

1. 会員数・会費収益状況

(1) 会員数状況

2023年度末の会員数については、経費削減・協会事業に参加出来ない等を理由に会員様の退会申し出があり、減となっていますが、全国47支部の中では最多（1位）を維持しました。

前年度末	新規入会	退会	純減数	2024.3会員数
2,782	22 (28)	139 (100)	▲117 (▲72)	2,665

なお、前年同期比で新規入会▲6、退会数+39と、減少率は▲2.5%⇒▲4.2%と増加（下表参照）
また、地域別の減少率では道央圏に比べ、道南・道北、道東が高く、新規入会がない地区が多いことから、事業を通じて協会の認知度を高め、賛同者となる新規会員を拡大していくことが大きな課題となっています。

(2) 会費収益状況

会費収入額については、会員減少率に連動し、前年同月比95.8%（▲554千円）となりました。

【地区協会別会員数状況】

	①2022 年度末	②2023年度			
		a.新規会員	b.退会会員	c.純増数	
道央圏	953	927 <▲2.7%>	17	-42	-25
札幌	569	558	16	-27	-11
千歳恵庭	42	41	0	-1	-1
空知	217	210	1	-8	-7
後志	86	80	0	-6	-6
南後志	39	38	0	-1	-1
道南圏	633	598 <▲5.5%>	4	-39	-35
函館	225	205	0	-20	-20
苫小牧	110	103	0	-7	-7
門別富川	29	30	2	-1	1
浦河	34	31	0	-3	-3
新ひだか	36	35	1	-2	-1
室蘭	99	95	0	-4	-4
伊達	100	99	1	-2	-1

	①2022 年度末	②2023年度			
		a.新規会員	b.退会会員	c.純増数	
道北圏	443	419 <▲5.4%>	1	-25	-24
旭川	165	156	1	-10	-9
富良野	28	28	0	0	0
深川	57	52	0	-5	-5
名寄	39	38	0	-1	-1
士別	33	30	0	-3	-3
留萌	51	47	0	-4	-4
稚内	70	68	0	-2	-2
道東圏	753	721 <▲4.2%>	0	-32	-32
十勝	190	181	0	-9	-9
釧路	205	193	0	-12	-12
根室	50	50	0	0	0
中標津	107	105	0	-2	-2
オホーツク	201	192	0	-9	-9
北海道ALL	2,782	2,665	22	-139	-117

2.テレコミュニケーション教育事業（公益事業）

SNS世代の新入社員が会社の電話に出ることに不慣れな「電話恐怖症」がマスクミでクローズアップされるなど、ビジネスシーンでのコミュニケーションスキル、ビジネスマナースキル（ビジネスコミュニケーションスキル）は、CS（お客様満足度）向上のカギになります。協会では、研修受講でスキル習得、その成果を電話応対技能検定や電話応対コンクールに参加し確認するという一連のサイクルとして企業の皆様に提案しています。

（1）ビジネスコミュニケーションスキル研修（535名：306事業所）

協会では、スキル層別に研修をオンライン（リアル）研修とアーカイブ研修を行うことで、道内どこからでも受講していただけます。商工会議所・商工会等の集合研修には都合が悪く出席できない方や事業所所在地には講師がいない場合等、補完できる研修としても広く利用していただいています。

①新社会人向け研修（280名：155事業所）

<オンライン研修> 年4回実施（1回40名定員） ※協会会員は1回3名まで無料

【北海道内で90名：56事業所が利用】

<アーカイブ研修> 7月～2月まで約7ヶ月間受付し配信 ※協会会員無料

【北海道内で36名：14事業所が利用】

<集合型研修（商工会議所共催型）> 一部の地区協会と地域の商工会議所が共催して実施

3/22（金）フレッシュマンスキルアップ研修

主催：深川商工会議所、共催：公財）日本電信電話ユーザ協会深川地区協会等

講師：株式会社日本ビジネス社 代表取締役 佐々木 隆浩 氏

参加人数：2企業6名（全体-2企業6名）

<4地区協会5会議所と共催：154名：85事業所が利用>

※非会員への協会案内が課題

②若者向け研修（57名：32事業所）

<オンライン研修> 年3回実施（1回40名定員） ※協会会員は1回3名まで無料

③実務者向け研修（140名：76事業所）

<オンライン研修> 年3セット（前期：後期：実技 各1回で1セット）計9回実施

④リーダー育成研修（32名：23事業所）

<オンライン研修> 年2セット（前期：後期：実技 各1回で1セット）計6回実施

⑤リーダー・指導者向け研修（26名：20事業所）

<オンライン研修> 1セット（前期：後期：実技 各1回で1セット）計3回実施

区分	名称	回数	参加人数(事業所数)																							
			札幌	千歳 恵庭	空知	後志	南後志	函館	苫小牧	門別 釧路	新 ひだか	浦河	室蘭	伊達	旭川	富良野	深川	名寄	士別	留萌	稚内	十勝	釧路	根室	中標津	オホーツク
電話応対コンクール	説明会・研修会等	6	153 (78)	129 (61)	10 (3)	1 (1)		1 (1)	2 (2)	1 (1)					5 (5)		1 (1)			1 (1)	1 (1)	1 (1)				
	コンクール出場者 (地区・北海道・全国)	10	142 (52)	107 (30)	13 (3)	2 (2)		2 (2)	2 (2)	2 (2)					6 (4)		2 (2)			2 (2)	4 (3)					
層別研修	新社会人 会議所主催 (集合型)	8	154 (85)												37 (21)	6 (2)	19 (15)	19 (11)	24 (10)							49 (26)
	リアルオンライン	4	90 (56)	5 (3)	2 (2)	14 (10)	7 (5)	5 (3)		7 (3)		1 (1)		18 (13)		4 (2)				10 (6)	5 (3)		9 (4)	3 (1)		
	アーカイブ	1	36 (14)	13 (1)		2 (2)	2 (1)			1 (1)			1 (1)		1 (1)	1 (1)				3 (3)	10 (1)		1 (1)	1 (1)		
	若手(オンライン)	3	57 (32)	12 (10)		6 (3)	4 (2)		1 (1)		1 (1)	8 (3)			7 (2)	3 (3)					1 (1)	4 (2)		5 (1)	5 (3)	
	実務者 (オンライン+実技)	9	140 (76)	125 (66)		3 (3)															4 (2)				8 (5)	
	リーダー向け (オンライン+実技)	6	32 (23)	32 (23)																						
	指導者向け (オンライン+実技)	3	26 (20)	26 (20)																						

3. ICT利活用推進事業（公益事業）

道内は、労働人口が減少に転じている中、2024年度問題もあり、労働力確保が難しくなっており、不足する労働力の代替として注目されるDX（デジタルトランスフォーメーション）をテーマに、AIや生成AI等の最新技術を活用するセミナーやICT機器の体験会や現地見学会を2大公益事業の一つとして実施しました。

また、商工会議所やNTT東日本グループと連携したICTセミナー、全国各地の支部と連携したICTセミナーをオンラインで開催するとともに、地区理事会・総会でのICTミニセミナー開催等、DX・ICT関連情報提供の充実、ICT活用推進事業への参加機会の拡大に取り組みました。

（1）ICTセミナー（1,011名：800事業所）

「ICT人材がない、難しい」、「DXはどうやるの」との声を受けて、「視て・聴いて・触れる」機会を増やすことを目的に、最新のICT機器や技術（AIや生成AI）を不足する労働力の代替にもらうセミナーを複数の商工会議所・商工会と連携しています。

①複数地区連携：「基調講演＋（展示・体験）＋特別講演」<4回実施、9月・2月は全国配信>

- ・テーマ：地域医療の課題（国立穂別診療所副所長 香山 リカ氏）【5月】
- ・テーマ：人手不足対策（(株)タイミー代表取締役社長 小川 嶺氏）【6月】
- ・テーマ：分身ロボット（株式会社オリイ研究所 CVO 吉藤オリイ氏）【9月】
- ・テーマ：AI・生成AI（東京大学薬学部教授 池谷 裕二氏）【2月】

②複数地区連携：「現地見学会＋講演」

・7/7（金）道北7地区合同「ICT交流会」

テーマ：「ドローンによるスマート農業・点検・災害対策等の最新動向」

「道北エリアにおけるDX等ICT活用事情について」

講師：和田哲大氏（NTT e-Drone Technology）・諏訪部達也氏（NTT東日本）

参加人数：16名（旭川-3/富良野-1/稚内-2/一般-3/NTT・ユーザ協会-7）

・「北広島ボールパーク」（ファイターズ スポーツ&エンターテイメント 佐藤拓氏）【9月】

③商工会議所（NTT東-南関東）共催：ICTセミナー

- ・電帳法対応セミナー（釧路）
- ・ChatGPT（帯広・オホーツク）

④総会・理事会：「NTT東日本講師のミニセミナー」<24回実施>

・10/24（火）「DXを進めるためのヒント」（NTT東日本 北海道北支店長 諏訪部達也氏）

<ICTセミナー：地区別参加状況>

区分	名称	回数	参加人数(事業所数) ※道外オンライン参加者を除く																									
			札幌	千歳	空知	後志	南後志	函館	苫小牧	門別	新ひたか	浦河	室蘭	伊達	旭川	富良野	深川	名寄	士別	留萌	稚内	十勝	釧路	根室	中標津	オホーツク		
ハイブリッド	函館ICT講演会 (遠隔医療) 香山リカ氏	1	72 (30)	7 (7)					65 (23)																			
	札幌経営セミナー (人手不足)タイミー	1	75 (61)	60 (48)	12 (10)	1 (1)																	1 (1)					
	札幌経営セミナー (ロボット)おりひめ	1	111 (72)	107 (69)	1 (1)	3 (2)																						
	釧路最新技術活用 (AI・生成AI)池谷裕二氏	1	122 (102)	24 (14)	2 (2)	1 (1)		20 (17)	1 (1)										1 (1)				3 (1)	45 (42)	5 (5)	7 (6)	3 (3)	
集合	NTT東-南関東・商工会 議所連携(DX/電帳法)	5	181 (144)																		14 (14)	38 (23)	39 (31)			90 (76)		
	商工会議所との共催	2	124 (87)																									
現地見学会等	旭川ICTパーク見学と DX活用(ドローン等)	1	11 (7)																				2 (2)					
	まちづくり (北広島ボールパーク)	1	46 (28)	37 (21)	5 (4)	4 (3)																						
会員特典	総会・理事会に併せた ミニセミナー	24	269 (269)	25 (25)		9 (9)	10 (10)	9 (9)	12 (12)	22 (22)	12 (12)	9 (9)			13 (13)	17 (17)	17 (17)	2 (2)	11 (11)	7 (7)	5 (5)	3 (3)	14 (14)	14 (14)	17 (17)	6 (6)	11 (11)	24 (24)
	eラーニング	11	293 (21)	291 (20)														2 (1)										
	標的型攻撃メール訓練	11	28 (4)	11 (2)																								

4. 会員交流事業（自主事業）

会員交流事業は、会員企業の経営者の皆様が集まる異業種交流や組織強化を目的とした親睦イベント等、地区協会が工夫しながら実施しており、具体的には、理事会・総会後の交流会や親睦スポーツ交流会等があります。

公益事業とは違う自主事業であるため、その費用は本部基準内での会費の一部充当と参加費を徴収して行う必要があります（最下段※参照）。公益事業を事業の柱に実施しつつ、これらの基準を踏まえた会員交流事業を行うことで、会員相互の親睦や新規会員拡大につなげていけるよう、地区会長・役員の皆様のご意見を伺いながら進めていきます。

（1）会議（総会・理事会）に併せた意見交換会

定時総会や理事会、広域連携のICTセミナー後に講師を交えて会食を伴う交流会を開催しました。また、支部では、電話対応コンクール北海道大会出場者、審査委員等を交えての交流会、全国大会出場選手の慰労会を地区協会役員含めて開催しました。

①北海道支部理事会

北海道支部理事会は、第1回理事会（2023.6.20）にて2022年度決算報告と2023年度事業計画の承認、第2回理事会（2024.2.15）にて、2023年度決算見込みと2024年度事業方針について、全会一致で承認いただきました。

②地区協会の定時総会・理事会

10/24（火）理事会・定時総会を開催

<同時開催：DXを進めるためのヒント 講師 NTT東日本 北海道北支店長 諏訪部達也 氏>

コロナ禍明けとなった2023年度定時総会については、殆どの地区が集合同期開催し、会員交流会も併せて実施しました。

付議した議案は全てご承認いただきましたが、開催時期が年度後半となった地区協会もあり、円滑な事業運営に資するためにも、遅くとも7月迄には完了していくようにしていきます。

（2）親睦的なもの（スポーツ交流会等）

【地区協会別の状況】

区分	名称	回数	参加人数(事業所数)																								
			札幌	千歳 恵庭	空知	後志	南後志	函館	西小牧	門別 富川	新 ひだか	浦河	室蘭	伊達	旭川	富良野	深川	名寄	士別	留萌	稚内	十勝	釧路	根室	中標津	オホーツク	
会議費	理事会(会場出席者)	26	169 (169)	24 (24)	6 (6)	3 (3)	4 (4)	3 (3)	34 (34)	5 (5)	5 (5)	5 (5)	書面	4 (4)	9 (9)	3 (3)	2 (2)	5 (5)	4 (4)	4 (4)	3 (3)	5 (5)	6 (6)	9 (9)	6 (6)	12 (12)	8 (8)
	総会(会場出席者)	23	307 (307)	42 (42)	9 (9)	9 (9)	10 (10)	6 (6)	23 (23)	22 (22)	12 (12)	9 (9)	書面	13 (13)	17 (17)	17 (17)	2 (2)	11 (11)	7 (7)	5 (5)	4 (4)	14 (14)	14 (14)	17 (17)	6 (6)	14 (14)	24 (24)
	意見交換会	17	268 (257)	32 (26)	13 (10)	8 (8)	13 (13)	6 (6)	25 (25)	21 (21)	12 (12)	8 (8)	-	10 (10)	13 (13)	13 (13)	2 (2)	10 (10)	5 (5)	5 (5)	1 (1)	7 (7)	17 (17)	16 (16)	4 (4)	10 (10)	17 (15)
組織強化交流会	スポーツ交流会 (ゴルフ・パークゴルフ)	10	222 (172)	9 (8)	10 (6)						8 (8)			19 (19)	42 (20)												32 (32)
	その他会費制イベント	1	19 (6)																								19 (6)

※ 協会年会費については、定款等で定める公益事業（テレコミュニケーション教育・ICT利活用推進）へ当該年度に50%以上を使用することを本部規程で定めております。

公益事業に使用した残り（会費収益の50%以下）から必要な運営費を除いた金額が、会員交流事業に充てることができる金額の上限となります。また、飲食の場合は、その利用者に隔たりがないことや、税法上の損金算入等を考慮し、会員あたり5,000円以内が望ましいとされています。

令和5（2023）年度決算報告

自 2023年4月 1日
至 2024年3月31日

1.収益の部

(単位：円)

科 目	2023予算額 (A)	2023決算額 (B)	増減額 (B)-(A)	備 考
前年度繰越	585,115	580,327	▲ 4,788	
会員会費収益	275,000	270,000	▲ 5,000	退会・未納3件
事業収益	110,000	72,728	▲ 37,272	
電話対応競技会収益 (電話対応コンクール)	0	0	0	
セミナー等収益 (対応系)	80,000	72,728	▲ 7,272	業提収入
組織強化費	30,000	0	▲ 30,000	総会后会員交流会相殺
雑収益	4	5	1	利息
当期収益合計①	970,119	923,060	▲ 47,059	

2.費用の部

(単位：円)

科 目	2023予算額 (A)	2023決算額 (B)	増減額 (B)-(A)	備 考
事業費	510,000	107,223	▲ 402,777	
電話対応競技会費用 (電話対応コンクール)	10,000	0	▲ 10,000	今年度参加なし
セミナー等費用 (対応系)	100,000	78,306	▲ 21,694	接遇研修に関わる費用 開催縮小による費用減
セミナー等費用 (ICT系)	50,000	25,917	▲ 24,083	総会后ICTセミナーに関わる費用(会場費)
組織強化費要	350,000	3,000	▲ 347,000	年末挨拶用カレンダー配送費 7地区合同ICTセミナー参加なし費用減
管理費	389,119	89,419	▲ 299,700	
会議費	200,000	67,200	▲ 132,800	理事会・総会開催費用規模縮小
諸経費	189,119	22,219	▲ 166,900	年会費請求委託費、各種手数料(残高証明、 振込手数料)、消耗品等費用、予備費
内部取引費	71,000	90,968	19,968	
運営資金費用	66,000	78,032	12,032	上部費
消費税分担費用	0	10,788	10,788	仮払消費税、仮受消費税精算
その他	5,000	2,148	▲ 2,852	年末挨拶用カレンダー負担金
当期費用合計②	970,119	287,610	▲ 682,509	

3.当期収支合計(正味財産合計)

(単位：円)

当期収益合計①	当期費用合計②	次期収支差額 ①-②
923,060	287,610	635,450

令和5（2023）年度監査報告

2023 年度会計監査報告

2023 年度深川地区協会会計について、関係帳簿及び関係帳票を監査した結果
いずれも適正かつ正確に処理されている事を報告します。

2024 年 6 月 6 日

監 事

小川組土建株式会社

代表取締役社長

小川 広見

2024 年 6 月 6 日

監 事

株式会社北洋銀行 深川支店

支店長

中田 健

令和6（2024）年度事業活動計画(案)

全国的な労働人口不足や2024年問題をはじめとした働き方改革が企業の喫緊の課題となる中、当支部もこれまでNTT東日本北海道事業部の稼働支援により運営してきた地区協会事務局も退職減耗等により、いよいよ維持することが難しくなったことから、2024年度からは全国他支部同様に支部職員で札幌から道内一元的に事務局業務を行わせていただくことと致しました。

役員の皆様を始め会員の皆様には、これまで各地区事務局に対し、格別のご理解ご支援を賜りましたことにつきまして、心より厚く御礼申し上げますとともに、今後も変わらぬご支援のほど、何卒お願い申し上げます。

事務局の札幌一元化後は、事業の実施にあたり道内どの地区も均一の公益事業をご提供させていただくことができる点が大きなメリットと考えております。本部や全国各支部が企画するオンラインイベントへの相乗りや、近隣の地区協会イベントとの合同開催などの検討、実現に努め、地区協会会員の皆さまが、これまで以上に協会事業に幅広く参加していただく機会創出に努めて参ります。

なお、当協会の主軸となる公益事業については、ここ数年取り組んできた公益二大事業のバランス見直し＝「旧来のビジネスコミュニケーション教育事業重点からICT利活用推進事業の充実・拡大」を継続、シフトチェンジしていきます。具体的には、全道各地の商工会議所・商工会との共催事業化を更に進め、会員企業はもとより普く広く地域全体へ最新のICT情報を早く正確にお届けすることで、「情報通信技術・サービスの利用者の利便増進に寄与し、地域社会の発展に貢献する」という当協会の目的を果たしていきたいと考えております。

役員、会員の皆様には、協会事業にご理解ご賛同をいただき、会員以外の皆様へ協会事業参加へのお声かけをしていただき、協会事業の認知度向上と新規会員紹介にご支援を賜りますようお願い致します。

1. 会員数・会費収益について

(1) 会員数目標 2,650 会員（全国1位死守＝新規会員100 加入）

北海道の会員数は、47都道府県支部で全国1位を維持しております（2位は東京）。

その一方で、道内経済の環境は地方ほど早く労働人口の減少が顕著で事業所も減少しており、今後も一定数の退会を想定せざるを得ない中で、協会事業に賛同していただける方には新会員になっていただきながら、協会の公益事業を維持・拡大させていくことが重要となっています。全地区の皆様の総力をお借りし、新規加入ゼロ地区をなくし、全国に先駆けて減少傾向に歯止めをかける足掛かりを造る年度としていきたいと思います。

【2024年度目標】

	2024.3末	2025.3末
北海道全体の会員数	2,665	2,650
新規会員数	22	100
退会会員数(前年並)	139	115

【地区協会別新規会員加入目標】

北海道計	北海道																									
	札幌	千歳	空知	後志	南後志	函館	苫小牧	門別	浦河	新ひだか	室蘭	伊達	旭川	富良野	深川	名寄	士別	留萌	稚内	十勝	釧路	根室	中標津	オホーツク		
新規会員	100	25	5	5	5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

※札幌と札幌隣接地区協会が4割、残りを各地区協会が分担した場合の目標値です。

(2) 会費収益について

会費収入額については、退会（通年）と新規（半稼働）の差もあり、微減傾向を見込めます。

	2023実績		2024計画 (ALL)		増減	
	会費収入	再)賛助会費	会費収入	再)賛助会費	増減	再)賛助会費
会費収益計画	12,492,000	220,000	12,159,400	220,000	▲332,600	0

2. ビジネスコミュニケーション教育事業（公益事業）

ビジネスでのコミュニケーションが、電話だけでなく、電子メールやSNS等で多様化していることから、名称をビジネスコミュニケーション教育とし、悪意のあるメールやSNSを見分け、ICTを最大活用していただくために、社員等の経験やスキルに応じた層別研修をオンラインにて提供することで、地域差の無い事業を提供していきます。

なお、現代の若者がタイムパフォーマンスを重要視することを踏まえ、一部研修については講師と相談しながら、アーカイブ（録画配信）型研修も前年に引き続き試行していきます。

これにより、各地域への商工会議所・商工会が主催する会場集合型研修とは並立でき、地域全体の利便性の向上へ寄与していきます。

（1）ビジネスコミュニケーションスキル研修

協会が行うビジネスコミュニケーションスキル研修は、全道を効率的にカバーすることで講師が居ない地域からも参加しやすいように、「オンライン」か「録画配信」で実施しており、2024年度も継続していきます。

特に新社会人向け研修は、各地の商工会議所等の集合研修とも共存しながら、多くの方にご利用いただいていることから、新人育成の一助となれるように複数回実施します。

①新社会人向け研修（1開催あたり、30名以上を目標）

<オンライン研修> 3回実施（1回40名定員）4/19、21、25実施
【協会会員：無料 / 一般：@3,300円（税込）/人】

<録画配信研修> 5月以降、準備が整い次第
【協会会員無料】 ※見逃し配信イメージ

<集合型研修（商工会議所共催型）>

フレッシュマンスキルアップ研修

時期確認中（3月）

主催：深川商工会議所、共催：公財）日本電信電話ユーザ協会深川地区協会等

②フォローアップ研修（30名以上を目標）

<オンライン研修> 1回実施（1回40名定員）
【協会会員：無料 / 一般：@3,300円（税込）/人】

<講師企業との共催型オンライン研修>

実務者・リーダー育成・リーダーの各層別研修については、電話応対技能検定資格取得の研修と内容が重なることから、電話応対技能検定指導者級保有講師の所属する企業へ依頼し、協会会員等に向けた公開講座を主催してもらい、協会が共催者として会員等向けに申込を受付する方式で効率的な運営に努めていきます。

③実務者向け研修（5月と11月）※有料（会員価格有）

- a. ビジスマナー研修（電話応対技能検定3級 6時間履修）
- b. 電話応対マナー研修（電話応対技能検定3級 6時間履修）
- c. もしも検定3級対策講座（電話応対技能検定3級 3時間履修）※7月と1月に実施

④リーダー育成研修（5月と10月）※有料（会員価格有）

- a. ビジネスコミュニケーションスキルアップ研修（電話応対技能検定2級 6時間履修）
- b. 電話応対研修会（電話応対技能検定2級 6時間履修）
- c. もしも検定2級対策講座（電話応対技能検定2級 3時間履修）※6月と12月に実施

⑤リーダー研修（12月）※有料（会員価格有）

- a. ビジネスコミュニケーション研修（電話応対技能検定1級 6時間履修）
- b. クレーム応対研修会（電話応対技能検定1級 6時間履修）
- c. もしも検定1級対策講座（電話応対技能検定1級 3時間履修）※2月に実施

(1) ビジネスコミュニケーションスキル研修

⑥東京支部主催オンライン研修への相乗り

東京支部にて主催する全国参加型オンライン研修は、北海道支部内の会員も会員価格にてご利用がいただけます。会員がより多くのメニューから研修受講機会を得られるようになります。具体的実施時期や内容は、北海道支部HP及びメルマガで随時お知らせさせていただきます。

<2024年 東京支部予定研修> ※研修名は変更となる可能性があります

	研修メニュー（カテゴリ）	実施概要	対象者
電話応対	電話応対基礎	①「何故電話応対が苦手なのか」タイプ別に克服法を考える、②これだけは覚えておきたい電話の受け方、かけ方、伝え方、③相手の気持ちを理解する力を磨く、④実践！事例を使ったロールトレーニング	電話応対に磨きをかけたい方
	電話応対リーダー育成	指導者として身に付けておきたい電話応対のスキル・心構えの習得、指導する場面で必要な「聴く力」「話す力」の習得	・社内リーダー ・コールセンターSV・管理者
	クレーム対応（初級・中級・上級）	クレーム対応者等が、言いがかり・いちゃもんや理不尽客から遠ざかる技術（スキル）を学び、難渋クレームに疲弊しないことを目的とした知識習得	ICカレーション対応者・クレーム対応に関わる部門のリーダー・SV・マネージャー等
	聴く力・話す力	お客様のご要望等をしっかりと聴き取りその本質を把握する力、聴いたことを理解し、更に付加価値を付けてお客様に話す力を習得	電コン出場選手・指導者、電話応対に磨きをかけたい方
	音声表現力強化（ヴォイストレーニング）	①話し方を磨く、②ヴォイストレーニング実践（滑舌・音読練習）、③声の表現力を習得	電話応対に自信を持ちたい方、電話応対の指導に悩んでいる方
	インプロ力強化	相手の状況、心情を感じ取り、臨機応変にその対応を変化させていく力を習得	電コン出場選手・指導者、電話応対に磨きをかけたい方
ビジネス	インサイト発掘、プレゼン強化	潜在的なニーズ（インサイト）を発掘する力、相手に好感を与え的確に伝える力を習得	電コン出場選手・指導者、電話応対に磨きをかけたい方
	ビジネスメール	ビジネスメールのマナーやルール、書き方や送り方、効率よくメールを使う上で役に立つテクニックを習得	電子メールを利用する方
	カスタマーハラスメント	①カスタムの定義、②カスタムマニュアル（厚労省）、③企業の取組むカスタム対策、④クレーム対応の基礎知識、⑤カスタムの元になるクレーム、⑥実践ロールプレイング	お客様対応等でストレスを感じている方
	オンラインコミュニケーション向上	お客様対応やプレゼンテーション等、様々なオンラインでのビジネスシーンに求められるスキルや、実際にすぐに取り入れられる効果的なコミュニケーションの方法を習得	オンライン対応のスキルアップを図りたい方

⑦会員企業の公開講座を会員へ紹介

<ビーグライド社研修【会員価格有】> ※電話応対技能検定指導者級講師
層別・スキル別オンライン研修を予定（支部HP・メルマガにて紹介予定）

<エスパスマナーアカデミー社研修【会員価格有】> ※電話応対技能検定指導者級講師
層別・スキル別オンライン研修を予定（支部HP・メルマガにて紹介予定）

<岡田プランニング社研修> ※電話応対技能検定指導者級講師
層別・スキル別オンライン研修を予定（支部HP・メルマガにて紹介予定）

<キャリアバンク社研修>
層別・スキル別オンライン・集合研修を実施（HP等で受付中）

※その他の会員企業から要望があれば、都度、会員企業のイベントを掲載し、メルマガ等でお知らせしていきます。

⑧会員企業の個別研修向け講師のご紹介

ビジネスコミュニケーション教育や、各企業の電話応対品質を診断する講師をご紹介します。協会登録講師以外の会員企業講師も居られますので、お気軽に相談ください。

<協会登録講師の料金目安>

- ・講師料の目安は、協会会員からのお申込みの場合
初めの2時間は、16,500円@時間（税込）、以降時間毎に13,200円@時間
- ・テキスト代、交通費・宿泊費は実費相当額となります。
- ・移動日が発生する場合、別料金が発生する場合があります。

(2) 電話対応コンクール事業

日常業務で培った自らの電話対応スキルレベルを確認し、出場者の中で対応品質を競う場として活用されている「電話対応コンクール」ですが、定型的なお問い合わせ業務にチャットやAIによる音声応答が導入される状況の中、人対人のビジネスコミュニケーションスキルは、企業のお客様満足度（CS）向上における重要性が見直されています。

仮想企業の社員として、同じお客様設定で対応するコンクールは、参加者同士の工夫した対応を知る貴重な機会ともなっており、対応スキルを資格制度とした「電話対応技能検定」と併せてご活用いただきたい事業です。2024年度の全国大会は高知市となりますので、多くの方に参加いただければ幸いです。

①事前研修

a.電話対応コンクールオンライン説明会（5/16）【無料】

予選会から全国大会までのスケジュール等の説明を中心に実施。

b.電話対応コンクールチャレンジセミナー（録画配信：2024.5.20-29）【無料】

コンクール参加の意義、コンクール問題の解説(求められているポイント)、
日常で養うべき電話対応のポイントなど
【講師：Bコミュニケーション社 伊藤康子氏】

②予選会【協会会員：無料 / 一般：@3,300円/人】

前年の参加実績等も踏まえ、地域毎の地区大会から全道一区での予選会へ見直して効率的な運営を行うこととします。

なお、北海道大会進出者の選定にあたっては、地域性を加味した審査を行うように努めます。

○申込期間	2024年7月1日～8月上旬（提）
○録音期間	2024年8月19日～23日
○審査方法	参加者指定の電話番号への架電による録音音源を審査
○審査結果発表	2024年9月6日（金） 予定 ※北海道大会進出者へは、北海道大会に向けた「ステップアップ研修」を9月中旬に実施予定

③北海道大会

○大会予定日	2024年10月2日（水）
○大会会場	札幌市民交流プラザ 3階 クリエイティブスタジオ
○出場予定数	20名
○全国大会派遣数	1名 ※ 北海道大会進出者の旅費は参加者所属の地区協会負担とします。 ※ 北海道大会上位入賞（準優勝・優秀賞3名）については、全国大会研鑽研修へ優先的に派遣していく予定です。 ※ 北海道大会出場者へは、電話対応技能検定講習無料受講券を副賞として授与します。

④第63回電話対応コンクール全国大会in高知

○大会予定日	2024年11月15日（金）
○大会会場	高知県民文化ホール
○出場予定者数	56名 ※ 全国大会出場者は、11月14日（木）～16日（土）の旅程となります。 宿泊は指定ホテルへ宿泊となります。旅費はコンクール事務局負担です。

(3) 電話応対技能検定事業

「電話応対コンクール」は、参加者の中で品質を競うのに対し、「電話応対技能検定」は、日常で身につけた電話応対スキルの段階に応じて資格取得ができる制度です。ビジネスコミュニケーションに特化した資格制度は唯一でもあり、一部の企業では社員資格取得制度の中の一つとしてご活用いただいています。

	4級 (入門級)	3級 (初級)	2級 (中級)	1級 (上級)	指導者級 (S級)
受験資格	特になし	特になし	本検定3級合格者	本検定2級合格者	5年以上の指導経験がある本検定1級合格者
資格内容	ビジネス電話に必要なコミュニケーションの基礎知識を有する。	ビジネス電話を行うためのコミュニケーションの基礎能力を有する。	ビジネス電話を行うためのコミュニケーションの応用能力を有する。	ビジネス電話を行うための社内の指導者として高度な実践能力および指導能力を有する。	電話応対に関する高度な知識、技能を有し、本検定の実施にあたっては、指導官や試験官などの役割を果たす。
検定講習	なし	15時間以上 (4級合格者は7時間以上)	15時間以上	15時間以上	70時間以上
検定試験	筆記試験 40分	筆記試験 40分 実技試験 3分	筆記試験 60分 実技試験 3分	筆記試験 90分 実技試験 3分	(本部HPにて案内)
検定料	1,100円(税込)	5,500円(税込)	6,600円(税込)	7,700円(税込)	11,000円(税込)

① 電話応対技能検定4級 (11回予定)

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回
検定試験日	4/3	5/8	6/5	7/3	8/7	9/4	11/6	12/4	1/8	2/5	3/5

※試験会場は、札幌市内に会場を設置予定。地方受験希望者は事前相談要

② 電話応対技能検定3級 (2回予定)

	第1回	第2回
検定試験日	筆記：2024.7.3 実技：2024.7.4	筆記：2025.1.8 実技：2025.1.9

※試験会場は札幌市内

③ 電話応対技能検定2級 (2回予定)

	第1回	第2回
検定試験日	筆記：2024.6.5 実技：2024.6.6	筆記：2024.12.4. 実技：2024.12.5

※試験会場は札幌市内

④ 電話応対技能検定1級 (1回予定)

	第1回
検定試験日	筆記：2025.2.5 実技：2025.2.6

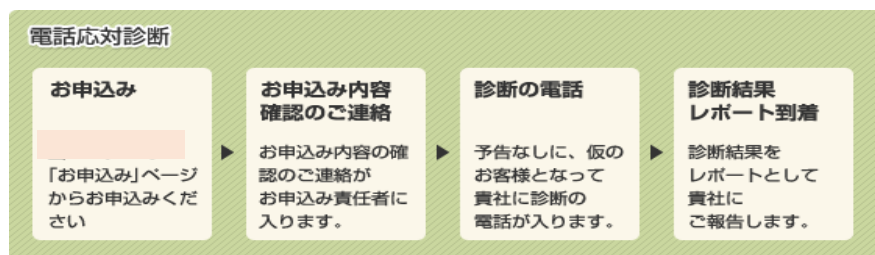
※試験会場は札幌市内

(4) 本部主催事業

協会本部でも会員様企業の「お客様満足度向上」に向けた事業を実施していますので、以下にご紹介いたします。

① 企業電話対応診断

電話対応の専門家が貴社の電話対応レベルを診断します。数値化された客観的な報告に、アドバイスも含めてご報告します。電話対応教育・企業のCS（顧客満足）経営の指針として、お役立てください。



<診断料金>

報告書タイプ	一般価格	会員価格
Aタイプ (5名の専門家が診断)	14,300円(税込)	11,000円(税込)
Bタイプ (1名の専門家が診断)	8,800円(税込)	5,500円(税込)

② 企業電話対応コンテスト

ユーザ協会の専門スタッフが「仮のお客さま」となって予告なしに電話をかけ、その際の電話対応模様を録音し、5人の専門家が客観的に数値化。業種別に行われ、100点満点で評価をします。また、結果から「報告書」として改善のアドバイスをフィードバックしますので、企業における電話対応サービスの向上、CS（顧客満足）経営の指針としてご活用いただけます。

<お申込みの流れ>

一般、会員を問わず自由参加可能です。

企業、複数の部門(セクション)での参加も可能です。

※1つのお申込み部門には、同一の電話番号で複数のお申込みはできませんのでご注意ください。

※診断先電話番号が「発信地域限定」となる場合は、コンテスト事務局(TEL03-5820-2071)まで事前にご相談ください。

■業種別に質問内容を変えて、7月下旬から予告なしに1回お電話いたします。

<お申込み期間>

5月1日～7月20日

<参加料金>

参加料金(1セクション(1電話番号)につき)

一般価格	会員価格
14,300円(税込)	11,000円(税込)

※IVR利用の場合は、最終接続先を1セクションとします。

※ユーザ協会指定口座へのお振込みをお願いします。

参加料の振込み確認をもって参加決定となります。

ご希望により、請求書を発行します。

3. ICT利活用推進事業（公益事業）

道内は、労働人口が減少に転じている中、2024年度問題もあり、労働力確保が難しくなっています。業務の仕組みを見直すためにデジタル技術を活用（＝DX：デジタルトランスフォーメーション）していくことが求められることから、最新の技術（例：生成AI）を活用するセミナーや現地見学会等を実施していきます。セミナー目的に合う著名人も呼びしながら、地域の非会員も参加できるようにしていきます。

（1）ICTセミナー

「ICT人材がいない、難しい」、「DXはどうやるの」との声を受けて、「視て・聴いて・触れる」機会を増やすことを目的に、最新のICT機器や技術（AIや生成AI）を不足する労働力の代替にもらうセミナーを複数の商工会議所・商工会やNTT東日本等と連携していきます。

協会会員以外の事業所にもお声掛けいただき、参加いただきたい内容にしています。

①北海道主催：広域連携：「基調講演＋（展示・体験）＋著名人講演」＜4回程度予定＞

- ・「札幌圏」北海道が目指すべき針路～地域資源のポテンシャルとグローバル戦略～
寺島 実郎氏 【6月24日】
- ・「道南又は道北」 検討中 【8月頃】
- ・「札幌圏」超入門！中小企業のDX導入事例と実践方法を教えます！
梅崎 健理氏 【10月15日】
- ・「空知・後志」白井 一幸氏 ※12/26 小樽経済Cで調整中 【12月26日】

・9/3（火）地方創生セミナー「北海道ボールパークから学ぶ、新しい“まち”づくり」

・9/26（木）「デジタルツール実演・展示会in深川」講師 NTT東日本地域共創担当 ＜深川商工会議所と連携＞

・新春 道北7地区合同新春ICTセミナー（ハイブリッド）

- ・「道東圏」 DXをテーマに現在検討中 【2月】

②本部・他支部主催の著名人オンラインセミナー＜6回＞

- ・本部主催：奇数月に1回程度、計6回実施予定（第1回は5月14日開催済、第2回は6月20日予定、以降検討中）
 - ・他支部主催：偶数月に他都府県が実施予定（詳細未定）
- ＜テーマ＞

- ①生産性向上（DX）に寄与するICT
- ②働き改革に寄与するICT
- ③地域課題・まちづくりを解決するICT

※実施内容・申込方法については、決定次第、HPやメルマガにてご案内致します。

③総会・理事会：「NTT東日本講師のミニセミナー」＜全理事会・総会で予定＞

9/26（木）「デジタルツール実演・展示会in深川」講師 NTT東日本地域共創担当 ＜深川商工会議所と連携＞

- ・総会等の機会を捉え、NTT東日本様には最新技術や地域貢献の取組み等を講演いただくことにも、地域の皆さまと情報通信技術等に関する意見をNTT東日本様と交換する場となるようにします。
- ・2024年度は、各地区協会総会資料を支部HPへ掲載し、総会へリアルオンラインで参加できるよう準備をしていきます。

（2）ICT講座（新規：年間6回程度実施予定）

- ・本部にてバンダーや講師と契約し、オンライン講座を実施
 - ・リアルオンライン開催後は、オンデマンド配信を検討中
- ＜テーマ＞

- ①サイバーセキュリティ対策講座（4月25日、6月20日開催）
- ②ビジネスコミュニケーションツール活用講座
- ③DX活用推進講座
- ④経営者のためのICTリテラシー講座
- ⑤経営者のための情報セキュリティ対策講座など

※実施内容・申込方法については、決定次第、HPやメルマガにてご案内致します。

(2) 会員特典

① eラーニング<11回開催>

ユーザ協会 会員様特典

いつでも どこでも
スマートフォンでも
社員研修を実施できます

**eラーニングを
インターネット学習
無料で提供します**

研修の悩み

- 予算がかかる
- 時間がない
- 効果測定が...
- 場所がない
- 研修メニュー.....

eラーニングが解決します

- 同時間、同一場所に来る必要はありません
=いつでもどこでもスマートフォンでも受講できます
- 個々の習熟度に応じた学習が進められます
- 学習の効果測定ができます
- 毎月受け付けます(1事業所20名様)

**申込み・お問合せ
お待ちしております**

申込み・受講の手順

お申込み

- 会員企業様 対象
- 各支部のホームページ「インターネット学習サービス」からお申込みください。

受講

受講者がパソコンをいインターネットを利用して学習できる。

実施結果

受講終了後、eラーニング実施レポートをお送りします。

開催回	申込期間	受講期間
第1回	4月1日～15日	5月15日～6月5日
第2回	5月1日～15日	6月15日～7月5日
第3回	6月1日～15日	7月15日～8月5日
第4回	7月1日～15日	8月15日～9月5日
第5回	8月1日～15日	9月15日～10月6日
第6回	9月1日～15日	10月15日～11月5日
第7回	10月1日～15日	11月15日～12月6日
第8回	11月1日～15日	12月15日～ 2025年1月5日
第9回	12月1日～15日	1月14日～2月4日
第10回	2025年 1月4日～18日	2月15日～3月8日
第11回	1月25日～2月8日	3月10日～3月31日

<カリキュラム>

- ①DX入門 (8講座) ②新入社員向け (15講座) ③新入社員育成者向け (8講座)
- ④全社員向け (12講座)

② 標的型攻撃メール予防訓練サービス<11回>

**あなたの会社も狙われている?!
標的型攻撃メール予防訓練サービス
(無料)のご案内**

被害が拡大しつつある「標的型攻撃メール」。被害者であるはずのあなたの会社が時として加害者になることも。ユーザ協会では会員を対象に無料で「標的型攻撃メール訓練サービス」を提供しています。自社の実態を把握するために一度トライアルしませんか？

標的型攻撃メールの流れ

攻撃者 → 標的型攻撃メール → 被害者のメールボックス → 被害者の端末

※C&Cサーバ (Command and Control Server) 攻撃者が管理した悪用サーバで被害者に悪用されたウイルスとバックドア通信を行う。

申込み・受講の手順

お申込み

- 会員企業様 対象
- 当コーナーの「お申込み」ページよりお申込ください

訓練実施

訓練メールを参加者へ送信
訓練実施(週間)前に訓練実施日の連絡をいたします。

学習

学習コンテンツを受講
連絡担当者様へ学習コンテンツを送信いたします。

実施結果

訓練参加者のメール開封状況のレポートをお送りします。

開催回	申込期間	訓練実施時期
第1回	4月10日～25日	5月下旬
第2回	5月10日～25日	6月下旬
第3回	6月10日～25日	7月下旬
第4回	7月10日～25日	8月下旬
第5回	8月10日～25日	9月下旬
第6回	9月10日～25日	10月下旬
第7回	10月10日～25日	11月下旬
第8回	11月5日～20日	12月下旬
第9回	12月10日～25日	2025年1月下旬
第10回	2025年 1月10日～25日	2025年2月下旬
第11回	2月10日～25日	2025年3月下旬

(2) 会員特典

③セキュリティ

セキュリティの危険要素を知ること、どのような対策を取ればよいか分かります。ユーザ協会では、セキュリティに関する『脅威の知る⇒対策する⇒備える』を一連でサポートすることで、会員の皆様の安心したIT運営をサポートしていきます。



【特典1】クラウド型メール用セキュリティ対策のお試しと実態レポート
「クラウドメール用セキュリティ対策サービスの30日間お試し利用」と「お試し期間中のメール攻撃実態レポート」を“無料”にて提供



■クラウドメール用セキュリティ対策サービス

- ・ 東日本電信電話株式会社提供の「おまかせクラウドアップセキュリティ」
- ・ 巧妙化するメタデータ攻撃から、クラウドメールを保護するセキュリティサービスです。新種/亜種のマルウェアやフィッシング攻撃等から、情報資産を守ります。
- ・ 特典の提供にあたっては東日本電信電話株式会社のサービス提供条件に準じます。
URL : <https://business.ntt-east.co.jp/service/cas/service.html#anc-attention>

■メール攻撃実態レポート

対象メールアドレスが受けているサイバー攻撃の状況を、レポートにて提供します。
30日の長期間レポートのため、実態に即した内容となります。

【特典2】会員割引を適用したサイバーリスク保険の案内
特典1をご利用の会員は、サイバーリスク保険※1を最大10%割引※2でご契約可能です。

※1.サイバーリスク保険は、東京海上日動火災保険株式会社が提供します。
※2.既に同様の保険をご契約されている場合等は適用されない場合があります。

会員割引の適用要件

- ① 日本電信電話ユーザ協会の会員であること
- ② 会員特典である「おまかせクラウドアップセキュリティサービス」を利用していること
- ③ 保険代理店 さら保険サービス株式会社経由でサイバーリスク保険の申込みを行うこと

サイバーリスク保険

サイバーリスク保険に関する詳細は下記をご参照ください。

東京海上日動火災保険株式会社 サイバーリスク保険
<https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/baiseki/cyber/>

保険のご契約に向けたコンサルティングは、保険代理店であるさら保険サービス株式会社が行います。

■受付期間 2024年4月1日～2025年3月31日

■受付対象 日本電信電話ユーザ協会会員

■その他提供条件等

- ・ 法人（個人事業主様を含む）に限ります。事業をされていない個人のかたはご利用いただけません。
- ・ 各サービスは、サービス提供事業者とのお契約となります。
- ・ 特典のお申込み情報は、対象となるサービス提供事業者および保険代理店に提供します。
- ・ 各サービスのご利用に向けて、対象となるサービス提供事業者および保険代理店より確認および説明のご連絡をさせていただきます。
- ・ ユーザ協会へのご入会（会員登録）をご希望の方は、[入会の案内](#)をご参照ください。
- ・ 協会指定の「クラウド用セキュリティ対策サービス」は、東日本電信電話株式会社が提供する「おまかせクラウドアップセキュリティ」となります。
- ・ 「サイバーリスク保険」は、東京海上日動火災保険株式会社が提供します。
- ・ 新規ご利用の場合に限ります。すでにご利用いただいている場合には対象外となります。
- ・ 特典のご利用は1会員様1回限りとさせていただきます。
- ・ ご契約前であれば、特典のお申込みはいつでもキャンセルすることができます。

4.組織強化・会員交流事業

地区協会は昭和51年頃から、NTTの前身である電電公社の電報電話局に事務局を置き、公益財団法人化した2012年には、道内に30地区協会が創意工夫しながら公益事業と会員交流を通じた組織強化を図ってきました。

今回、事務局が札幌へ一元化することもあり、「全道の会員が交流できるイベント」を目標にして、まずは近隣地区協会での合同開催、同じ地区内の複数会議所・商工会との合同開催事業に併せて、名刺交換会や交流会を検討していくこととします。

(1) 支部会員サイトの充実

① 会員企業サイトとのリンク（会員企業一覧への掲載）

会員企業一覧への掲載を許諾いただいている会員様のホームページへのリンクを実施

※会員企業からの申出があれば掲載・HPリンクの開始・廃止を随時行います。

② 会員イベントの告知

会員企業一覧へ掲載を許諾いただいている会員様のイベントを掲載することが可能です。

※公益に資するイベントについては、オンライン受付機能等もご利用いただけます。

③ メールマガジンによる告知機能の強化

メールでの連絡を許諾いただいている会員様については、支部より、月2回程度、メールで最新のイベント等の情報をお届けします。

※メール連絡を希望される会員様は、支部までお申し出ください。

② 会員専用の「目安箱」の設置

会員様からのご意見は、これまで総会の場合、個別に連絡いただき、直接お伝えいただく方法以外ありませんでしたので、準備が整い次第、支部HP内に「目安箱」を設けていくことにします。

なお、目安箱は質問と回答をHPで広く広報していくこととします。

(2) 会員交流事業

① 全地区交流イベント

地区協会会長等が集合し、ユーザ協会北海道支部をご支援いただいているNTT東日本北海道事業部と連携し、地域の課題を率直に意見交換することができる機会となるように企画していきます。

具体的な検討は、NTT東日本北海道事業部と連携しながら進めますが、地区役員だけではなく、希望する会員が参加できるような形式を目指して参ります。

② 地域別交流会

11/30（木）2023年度理事会・定時総会を開催（役員地域別の交流会は、近隣地区との合同開催を含め、多くの会員企業に参加いただき、会員企業同士の交流に寄与できるように進めていきます。

なお、景品や会食を伴うイベントについては、受益者負担の原則で行うこととし、協会が一部を拠出する場合も、協会規程に準拠し、一会員あたり年会費の半額未満までを基準に検討していきます。

令和6（2024）年度収支予算(案)

自 2024年4月 1日
至 2025年3月31日

【収益の部】

区分	23実績	24予算	増減	内容等
受取会費	270,000	260,000	▲10,000	
会員会費・賛助会費	270,000	260,000	▲10,000	
事業収益	72,728	84,000	11,272	
電話応対競技会	0	0	0	
ビジネスセミナー	72,728	84,000	11,272	フレッシュマンスキルアップ研修
ICTセミナー等	0	0	0	
電話応対技能検定	0	0	0	
企業電話応対診断	0	0	0	
機関誌発行・ちらし同梱	0	0	0	
HP・メルマガ情報発信	0	0	0	
会員交流事業等	0	0	0	
その他	0	0	0	
雑収益	5	0	▲5	
内部取引	0	0	0	
①経常収益計	342,733	344,000	1,267	

【費用の部】

区分	23実績	24予算	増減	内容等
事業費	107,223	364,000	256,777	
電話応対競技会	0	0	0	
ビジネスセミナー	78,306	84,000	5,694	フレッシュマンスキルアップ研修
ICTセミナー等	25,917	280,000	254,083	エスコンフィールド北海道+DX体験会+7地区合同ICTセミナー
電話応対技能検定	0	0	0	
企業電話応対診断	0	0	0	
機関誌発行・ちらし同梱	0	0	0	
HP・メルマガ情報発信	0	0	0	
会員交流事業等	3,000	0	▲3,000	
その他	0	0	0	
管理費	89,419	146,000	56,581	
会議費	67,200	122,000	54,800	理事会・定時総会交流会
諸経費	22,219	24,000	1,781	
内部取引	90,968	96,000	5,032	
②経常費用計	287,610	606,000	318,390	
③収支差(①-②)	55,123	▲262,000	▲317,123	
④期首残高	580,327	635,450	55,123	
⑤期末残高(④+③)	635,450	373,450	▲262,000	

地区協会運営方法の見直し (案)

【概要】

運営に係る労働力不足の波は協会も例外ではなく、運営効率化が喫緊の課題となったことを踏まえ、持続可能な運営体制を目指し2つの変革を行います。

- ①各地区協会の事務局を札幌へ集約（北海道支部の事務室内）します。
- ②協会事業の迅速な決定及び役員負担の軽減のために、各地区協会の理事会を決定機関とします。

以上2点は、地区協会会則変更の手続き（理事会承認後総会付議）を行います。

加えて、地区協会の見直し（広域統合）や会費の改定などについても、実施に向けた検討を地区協会役員の皆さまと今年度から協議を始め、数年後の実施を見据えます。

①事務局の札幌集約

条項	現在	改定後
(事務所) 第2条	この会は、事務所を旭川市内におく。	この会は、事務所を 札幌市内 におく。

②理事会を決定機関とするための見直し

地区協会の議決は、「理事会と総会」の2段階で議決しているが、総会出席者が少数かつ理事会出席者が参加しているため、重複した内容を聞くこととなっていることから、議決を理事会にて全て行うこととします。なお、理事会決定事項は、支部ホームページを通じて会員へ周知及び意見収集することとし、役員の皆さまの負担軽減、意思決定の迅速化を図ることとします。

各地区協会会則の以下の条項を以下のとおり改定する。

条項	現在	改定後
(地区協会理事等の解任) 第14条	地区協会理事等に地区協会理事等としてふさわしくない行為があったとき、又は、地区協会理事等として職務の執行に堪えられないときは、 地区協会総会 の議決により解任することができる。	地区協会理事等に地区協会理事等としてふさわしくない行為があったとき、又は、地区協会理事等として職務の執行に堪えられないときは、 理事会 の議決により解任することができる。
(地区協会総会の構成及び機能) 第17条	地区協会総会は、 定時総会及び臨時総会 とする。 2 地区協会総会は、会員をもって構成する。 3 地区協会総会は、次の事項を議決する。 (1) この会則で地区協会総会の議決事項とされている事項 (2) その他地区協会の運営に関する重要事項 4 地区協会総会は、次の事項について、理事会が定める経営の基本方針及び支部の指導等の範囲内で、議決することができる。 (総会で議決する場合) (1) 事業計画及び予算 (2) 事業報告及び決算 (3) その他地区協会の事業活動に関する重要事項 5 定時総会は毎年1回、臨時総会は会長が必要と認めるときこれを招集する。	地区協会総会は、 以下のとおり とする。 2 地区協会総会は、会員をもって構成する。 3 地区協会総会は、 地区協会組織等に関する重要事項を議決する 。 4 総会は会長が必要と認めるときこれを招集する。
(地区協会理事会の構成及び機能) 第21条	地区協会理事会は、地区協会理事をもって構成する。 2 地区協会理事会は、次の事項を議決する。 (1) この会則で地区協会総会の議決事項とされている事項 (2) この会則で地区協会理事会の議決事項とされている事項 (3) その他地区協会の運営に関する重要事項 3 地区協会理事会は地区協会会長が必要と認めるときこれを招集する。	地区協会理事会は、地区協会理事をもって構成する。 2 地区協会理事会は、次の事項を議決する。 (1) この会則で地区協会総会の議決事項とされている事項 (2) この会則で地区協会理事会の議決事項とされている事項 (3) その他地区協会の運営に関する重要事項 3 地区協会理事会は、次の事項について、本部・支部の経営の基本方針の範囲内で、以下を議決することができる。 (1) 事業計画及び予算 (2) 事業報告及び決算 (3) その他地区協会の事業活動に関する重要事項 4 地区協会理事会は地区協会会長が必要と認めるときこれを招集する。

深川地区協会役員の選任について

今年度は、改選年度になります。次のとおり選任のこととしたい。

※敬称略

深川地区協会

役職名	氏名	所属会社・役職名	区分
会長	廣野勝利	深川商工会議所 会長	継続
副会長	津田恭史	深川油脂工業(株) 代表取締役社長	退任
〃	池内英二	北空知信用金庫 理事長	新任
理事	赤藤敏仁	妹背牛商工会 会長	退任
〃	木山卓己	妹背牛商工会 会長	新任
〃	宇野忠直	秩父別町商工会 会長	退任
〃	北垣威史	秩父別町商工会 会長	新任
〃	藤井雅仁	北竜町商工会 会長	継続
〃	吉住淳男	沼田町商工会 会長	継続
〃	渡邊純	深川商工会議所 専務理事	退任
〃	吉村理明	深川商工会議所 専務理事	新任
〃	池内英二	北空知信用金庫 理事長	退任
〃	永倉隆太郎	社会医療法人アンリー・デュナン会 理事長	新任
監事	小川広見	小川組土建(株) 代表取締役社長	継続
〃	中田健	(株)北洋銀行 深川支店 支店長	継続
顧問	田中昌幸	深川市 市長	継続
〃	富岡正幸	富岡産業(株) 代表取締役	継続
〃	諏訪部達也	(株)NTT東日本 - 北海道 北海道北支店長	退任
〃	堂向修司	(株)NTT東日本 - 北海道 北海道北支店長	新任

令和5（2023）年度会員増強貢献表彰及び表彰基準見直し(案)

【2023年度地区協会表彰】

協会会員数の増強に努めた功績に対して支部長表彰を行います。

【表彰基準】

①会員数前年増減数 ②新規会員獲得数 ③退会数の偏差値平均で、会員規模別に順位を付け、各グループ1位を表彰する。 ※但し、新規会員獲得ゼロの場合は対象外とする。

(Aグループ(2023.3末会員数200以上)、Bグループ(2023.3末会員数100以上)、
Cグループ(2023.3末会員数50以上)、Bグループ(2023.3末会員数50未満))

グループ	表彰地区協会
Aグループ(札幌・空知・オホーツク・釧路・函館)	札幌地区協会
Bグループ(伊達・中標津・十勝・旭川・苫小牧)	伊達地区協会
Cグループ(根室・稚内・室蘭・留萌・後志・深川)	(対象なし)
Dグループ(門別富川・富良野・新ひだか・千歳恵庭・名寄・南後志・浦河・士別)	門別富川地区協会

			増減率	偏差値	増減数	2023年度	2022年度		入会数	偏差値		退会数	偏差値	
A	札幌	57.0	札幌	-2%	56.8	-11	558	569	札幌	16	97.3	札幌	-27	16.7
A	空知	49.9	空知	-3%	52.8	-7	210	217	空知	1	50.3	空知	-8	46.5
A	オホーツク	47.0	オホーツク	-4%	48.9	-9	192	201	オホーツク	0	47.1	オホーツク	-9	45.0
A	釧路	44.0	釧路	-6%	44.6	-12	193	205	釧路	0	47.1	釧路	-12	40.3
A	函館	36.7	函館	-9%	35.1	-20	205	225	函館	0	47.1	函館	-20	27.7
B	伊達	55.3	伊達	-1%	59.8	-1	99	100	伊達	1	50.3	伊達	-2	56.0
B	中標津	53.4	中標津	-2%	57.0	-2	105	107	中標津	0	47.1	中標津	-2	56.0
B	十勝	46.7	十勝	-5%	48.1	-9	181	190	十勝	0	47.1	十勝	-9	45.0
B	旭川	46.5	旭川	-5%	45.9	-9	156	165	旭川	1	50.3	旭川	-10	43.4
B	苫小牧	46.1	苫小牧	-6%	43.0	-7	103	110	苫小牧	0	47.1	苫小牧	-7	48.1
C	根室	56.4	根室	0%	62.9	0	50	50	根室	0	47.1	根室	0	59.1
C	稚内	52.3	稚内	-3%	54.0	-2	68	70	稚内	0	47.1	稚内	-2	56.0
C	室蘭	50.1	室蘭	-4%	50.3	-4	95	99	室蘭	0	47.1	室蘭	-4	52.8
C	留萌	46.1	留萌	-8%	38.4	-4	47	51	留萌	0	47.1	留萌	-4	52.8
C	後志	46.0	後志	-7%	41.1	-6	80	86	後志	0	47.1	後志	-6	49.7
C	深川	44.6	深川	-9%	35.5	-5	52	57	深川	0	47.1	深川	-5	51.2
D	門別富川	61.5	門別富川	3%	73.6	1	30	29	門別富川	2	53.4	門別富川	-1	57.5
D	富良野	56.4	富良野	0%	62.9	0	28	28	富良野	0	47.1	富良野	0	59.1
D	新ひだか	53.5	新ひだか	-3%	54.2	-1	35	36	新ひだか	1	50.3	新ひだか	-2	56.0
D	千歳恵庭	53.4	千歳恵庭	-2%	55.4	-1	41	42	千歳恵庭	0	47.1	千歳恵庭	-1	57.5
D	名寄	53.2	名寄	-3%	54.9	-1	38	39	名寄	0	47.1	名寄	-1	57.5
D	南後志	53.2	南後志	-3%	54.9	-1	38	39	南後志	0	47.1	南後志	-1	57.5
D	浦河	45.6	浦河	-9%	35.3	-3	31	34	浦河	0	47.1	浦河	-3	54.4
D	士別	45.3	士別	-9%	34.5	-3	30	33	士別	0	47.1	士別	-3	54.4

【2024年度の表彰基準について】

①新規会員獲得数、②年間純増数、③一般参加者数の3区分とし、各区分の偏差値の平均値1位(会員規模に応じたグループ別)に支部長表彰を行うこととしたい。

※①③の両方がゼロの場合は表彰対象外とする。

※グループは「A:200以上、B:100以上、C:50以上、D:50未満(2024.3末)」とする。

深川地区協会連絡先について

連絡番号 : 011-212-5023

F A X 番号 : 011-218-5313

メールアドレス : yuza-ho@jtua.or.jp

事務局長 : 戸来 隆幸 (へらい たかゆき)

事務局 : 上澤 あきな (うえさわ あきな)

引き続き、よろしく願いいたします。

<メ モ>